平成29年11月15日発行　2017年11月号　小淀ホーム広報誌　通巻64号

小淀ホーム

KOYODO HOME

寿楽

JYURAKU

平成29年11月号

Since 1996

敬老会

特養

９月１８日（月・祝）に敬老の集いを利用者皆様のご長寿を祝し開催いたしました。

今年は100歳以上の方が4名、白寿2名、卒寿6名、傘寿3名の15名の方が賀寿にあたりました。

式典には、中野区長も出席され、祝辞と花束をいただきました。

式典後は、男性合唱団「フレール」様による、合唱を楽しみました。賀寿の利用者様への歌のプレゼントや懐かしい歌をみなさんで一緒に歌い、会場は熱気にあふれ、大盛況でした。みなさまおめでとうございます。

デイサービス

デイサービスでは、9月18日、19日、20日の3日間、「敬老の集い」を開催しました。現在デイサービスには、60名を超えるご利用者様が、通所されており、最高齢は男性97歳、女性96歳で90代の方が多く通われています。

敬老の集いには、いつにも増して晴れやかな表情で参加され、「2度目の東京オリンピックを、一緒に応援しよう！」という声もあがり、昼食時の『乾杯』の声も一層大きなものになりました。記念に通所時に撮影した笑顔の写真を写真立てに収めて差し上げました。

平成29年度 自衛消防訓練審査会に出場しました。

平成29年9月14日（木）に中野消防署管内の27事業所35隊の自衛消防隊が参加した自衛消防訓練審査会に出場し敢闘賞をいただきました。

当日は好天に恵まれ各隊とも気合が入った審査会で日頃の訓練の成果を競い合いました。

小淀ホームは、2人操法にて1隊が出場しました。出場した坂本主任と小林さんは息も合い、機敏に的確な操作で消火活動を行いました。ホーム内でも毎月消火訓練等を実施しています。改めて万が一の時に備え取り組んでまいります。

東部まつり

お散歩しながら、まずまずの天気

９月３０日（土）に東部区民活動センターで開催されたお祭りに作品を出展しました。作品は、利用者様の書道や飾り、スマイルカフェに参加されている地域の方々の作成したミニ植木鉢やマスコット、紙で作った箱などです。

当日は、特養の利用者様とご家族と散歩をしながらお祭りを見学し、ファミリーレストランで甘味とお茶を楽しみました。お祭りは、大勢の方が集まってとても賑やかでした。

ようこそ甘味処へ

認知症スマイルプロジェクト
VR（バーチャルリアリティ）認知症体験会を開催しました。

10月27日（金）にVR認知症体験会を行い、職員や利用者のご家族・地域の方など、総勢50名以上の方が参加されました。

体験会では、「バスを降りることができない」「行き先がわからない」「幻視」といった、認知症の方にみられる症状をバーチャルの世界で体験しました。

後半は、レビー小体型認知症を発症し執筆、講演活動を行っている樋口直美さんからも体験談を聞くことができました。ひとりの人として、相手の声に耳を傾けて接することがいかに大切かを参加した皆さんが痛感したようです。

相手の気持ちを汲み取らず何気なく「大丈夫ですよ。」と、伝えていた言葉がどれだけ不安をあたえていたか、

今後、この体験を活かして、認知症になっても暮らしやすい街づくりに取り組んでいきたいと思います。

体験後アンケートのご意見

- ❀認知症になっても思考力が衰えるわけではないといった言葉が印象的でした。
- ❀当事者の方が語る体験談は何事にも代えがたい貴重な言葉だと思う。
- ❀「大丈夫」とつい声かけしてしまっていたが、怖い事は、怖い。大丈夫ではない。
- ❀病気としてどうするかではなく、ひとりの人としてどう接するかが大切だと感じた。
- ❀ VRや樋口さんのお話は目からウロコでした。
- ❀自分もいつか認知症になるかもという不安があったが、気持ちが楽になりました。

インフルエンザ、感染性胃腸炎に気を付けましょう！

寒い季節になるとインフルエンザやノロウィルス等による胃腸炎が流行します。予防には、手洗い、うがいが大切です。特に外出先から帰った時、調理前、トイレ後などは入念に手洗いすることをお奨めします。

また、栄養バランスの良い食事や衣類の調整などで体調管理に心がけることも大切です。しっかり予防して寒い冬を乗り切りましょう。